

16/01/2020 Thu

天候にも恵まれ、今日はだいぶ暑いです。こちらの夏はカラッとしているのでとても過ごしやすいです。午後のアクティビティはオークランド博物館に行きます。

本日もアクティビティに出発です



今日は2階建てバスで移動します



着きました



オークランド博物館はニュージーランドの歴史や自然、原住民族のマオリの文化や歴史について多くの展示がなされている博物館です。

オークランド・ドメインという大きな公園にそびえ立つ白い神殿のような建物が目印です。

博物館前での集合写真



ニュージーランドの大きな特徴として、国民の多くが移民で成り立っていることが挙げられます。様々な人種の人たちが協力し合いながら素晴らしい社会を形成しています。

その様子を学ぶために、昨今では英語圏のアメリカからもわざわざ留学に訪れることがあるそうです。

ニュージーランドに住むひとたちのことを愛着をもってKiwi（キウイ）と呼びますが、Kiwiの人たちのおおらかで優しい国民性が学生の留学地として選ばれる理由のひとつなのではないでしょうか。

そんな国民性を語る上で大きなポイントになってくるのが先住民族であるマオリとの関係です。イギリスから白人がニュージーランドにやってきたとき、彼らはマオリとの関係を差別や迫害ではなく友好・共生の道を模索したといわれています。（それでも、条約などをみるとイギリスの方に有利な記載も多かったとも現地の人たちは言います。）

同じオセアニアですが、白豪主義の強いオーストラリアとはこの点が大きく違います。そんな先住民族マオリに関する貴重な展示もこの博物館で数多く見ることができます。

マオリとオークランドの歴史について学びます



こちらはマオリとグリーンストーンの歴史について



マオリの宝物庫



マオリの伝統工芸品



マオリの船を操作して島に辿り着く対戦ゲームがありました



ニュージーランドの豊かな自然や、生息する生物の歴史などに関する展示もありました。

恐竜の化石



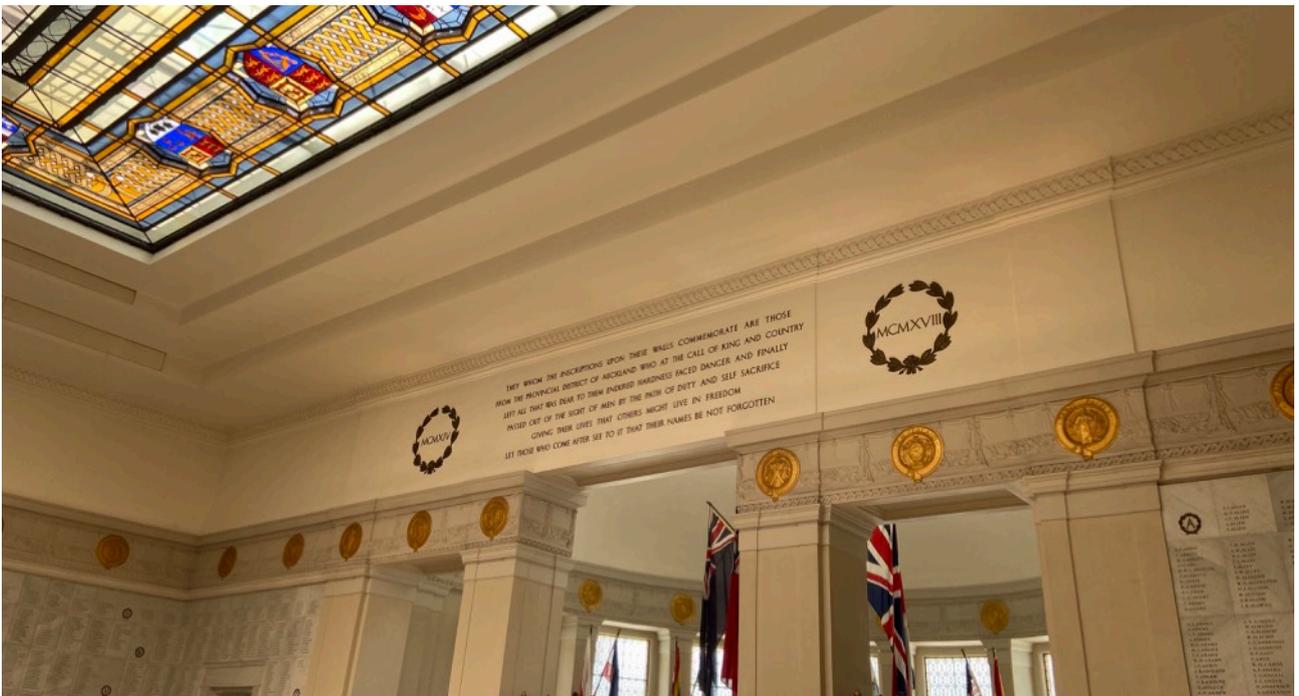
モアという絶滅してしまった3メートル以上ある鳥です



オークランド博物館は、戦争記念博物館という別名で、古いものから第二次世界大戦までの戦争の犠牲者を悼む場所でもあります。

中でも日本軍に関する資料も数多く展示され、なかでも日本のゼロ戦が無傷の状態に残されているのには日本人としてもものすごくインパクトのある展示です。

戦争の犠牲者を悼む広場



戦争記念博物館という名前でもあり、戦争に関する展示も数多く見られます



日本のゼロ戦が無傷で展示されています



少し休憩



オークランドの今昔コーナーにて

